

# スマート技術導入積極化

タブレット端末を導入した小西化学福井工場では完全自動化を目指し工場のスマート化が進む



セイカが和歌山市市内でのDPE工場建設を決定したり、小西化学工業が高機能ポリマー原料・D

HPPSの増産を目指し福井に専用工場を新設した投資案件は、大堀工場長が指摘する当地の愚直

な技術研鑽が結実したものだ。

投資額はセイカ（年商108億円）が57億円、小西化学（同41億円）が25億円だから社運がかかっている。小西化学は完全無人運転を目標に据えており、小西弘矩社長は「タブレット端末によるプラント制御や、従業員が小型カメラを装着しリアルタイムで現場の状況把握ができる体制を整えました。目指すのはスマート化学工場です」。そしてセイカの竹田社長は「AI（人工知能）などの導入を視野に入れていまして」と言い切る。高品質と低コストの両立、そして工場保安の徹底はファインケミカル工場の最大の課題だ。小西社長は自動化により、そうした難度の高い技術テーマの解を見つけようとしている。

和歌山県和歌山市 小西化学工業株式会社 社長 竹田 隆夫

福井県福井市 小西化学工業株式会社 工場長 大堀 隆夫

（株）セイカ 和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫  
（株）小西化学工業 和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

セイカ

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

小西化学工業

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

セイカ

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

小西化学工業

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

和歌山県和歌山市 和歌山工場 代表取締役社長 竹田 隆夫

※ 本記事は取材時点の情報に基づき、状況が変更される可能性があります。最新情報は各社のウェブサイトをご覧ください。

